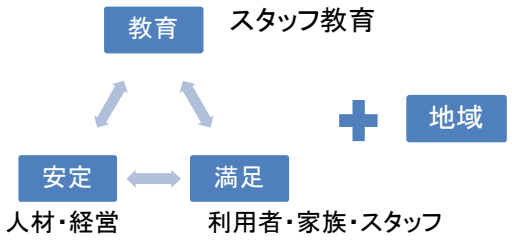
令和6年度事業報告

事業所名	赤迫こども園	部　門	幼保連携型認定こども園
理念	実れ！ことぶきの穂！		
行動基準	3つのS　Smile（笑顔）　Safety（安全）　Speedy（迅速）		
事業目的	めざす子ども像 ・よく見、よく聞き、よく考える子ども ・思いやりのある子ども ・豊かな感性を持つ子ども		
事業目標	保育理念　様々な経験を通して豊かな感性を育む 保育方針　心身共にたくましく、思いやりのある子 保育目標　話す力、聞く力を育てる		

評　価

評価指標	教育　園内外の研修を受講し、それぞれの職務内容に応じた専門性を高める	◎ ・ △ ・ ×

＜活動内容＞

・園内研修を積極的におこなうとともに、外部機関の研修会へも積極的に参加し、職員の資質の向上に努めた。

・職員は各自１年間を振り返り自己評価を行い、園の自己評価に繋げて、毎年園自己評価HPに掲載している。

・保育士キャリアアップでは、10名の職員が6分野の研修を受講した。

評価指標	安定　子ども達が安心して過ごすことの出来る、居心地の良い保育環境を整える。	◎ ・ △ ・ ×

＜活動内容＞

・クラスごとに、5月に親子参加の「親子で遊ぼう」を実施し、保護者・園児・クラス担任での交流を行った。

・夕方の延長保育時の過ごし方について、子ども達が落ち着いて過ごせるよう遊具など工夫して提供した。

・遠足では子どもの興味関心のある場所を選び、新幹線乗車等たくさんの楽しい経験をすることが出来た。

・「プリコット」や「シャボラボ」等プロにお願いし、本格的な音楽やシャボン玉を楽しんだ。

・乳児クラスは少人数担当制をして、愛着関係を築くことで、子ども達が落ち着いて生活することが出来た。

評価指標	満足　園独自の自己評価を実施し、保育・教育内容の改善を図る。	◎ ・ △ ・ ×

＜活動内容＞

・利用者99世帯にアンケートを実施し、90世帯(90.9%)の回答があり，内96%が満足している回答だった。

・保護者との個別面談を実施し、園での子どもの日頃の様子を伝え、家庭での様子も聞き情報を共有した。

・行事等の取り組みでは毎回評価・反省を行い、より良い行事が実施出来るよう改善を図っていった。

・4・5歳児クラスでは『体操教室』の活動を取り入れ、楽しく運動遊びに取り組むことが出来た。

地域貢献 その他	・地域の乳幼児を対象に、「入園説明会」及び、子育て支援講座「ママ友会」「ワクワク広場」「園庭開放」を6回実施し入園に繋がった。 ・西北小学校と頻繁に交流する機会を設け、年長児は小学校入学への期待をもつことが出来た。 ・西北校区コミュニティ協議会へ参加し、また岩屋ふれあいまつりにはキッズソーランを披露した。